



CONTENTS

Top Opinion

1

社員とともに会社の成長を

ユニオン建設(株) 代表取締役社長 中西 雅明

VOICE

2

BEV(電気自動車)のすすめ

J R東日本コンサルタンツ(株) 佐々木 優美

今月の国際比較データ

3

P F 書店／私のインフラ巡礼／編集後記

4

未来構想プラットフォームに理事として長くの間ご貢献いただきました副会長 齊藤 親さまにおかれましては2024年12月31日（享年74歳）に、また会長 林 康雄さまにおかれましては2025年1月13日（享年72歳）にご逝去されました。生前のご指導ご尽力に感謝を申し上げますとともに、あらためてお二人のご冥福ならびに御霊のご平安をお祈りする次第です。

なお3月15日頃発信となる次回のプラットフォーム通信では、関係役員各位からお二人を偲ぶお言葉を掲載させていただく予定です。



私のインフラ巡礼



～横浜港新港埠頭・岸壁群～

(J R東日本 岩井 有人)

未来構想PFのホームページ
(HP) をご覧ください。会員はもちろん社会に大きく
開かれた「参加型」HPです。

未来構想P F

検索

で検索してください。

トップページへのリンクは

[こちら](#)

Top Opinion

社員とともに会社の成長を

ユニオン建設(株) 代表取締役社長 中西 雅明

私は平成元年にJR東日本に入社し約34年勤務した後、ユニオン建設に勤務して約1年半が経ちました。厳しい経営環境が続く中で当社が成長していくための課題は数多くありますが、「社員の成長」が最も重要なものの一つです。

当社は昨年、JR東日本の100%子会社になり、JR東日本からの仕事を安全かつ高品質に施工するミッションがますます強まっています。当然ながら、JR東日本からの工事は、ホームドア工事や耐震補強工事など社会的にも重要かつ緊急性の高い仕事が多く、当社の業務量はたいへん多い状況が続いています。当社の社員もその重要性などは十分理解してやりがいを持って仕事をやっているものの、形に残る大きな仕事をやりたいという意欲が強い社員が多くいるのも事実です。少し規模の大きい建設工事を受注していくためにも中長期的に人財がさらに必要で人財確保にも特に力を入れています。

やりたい仕事に携わることが重要なのは間違いありませんが、向いているあるいは必要とされている仕事に携わり、やりがいを感じてもらうことも重要であると考えています。

私が就職活動をしていた昭和63年当時は現在と同様に売り手市場で、さまざまな企業から「うちへ来いよ！」と言われるたいへん恵まれた環境にありました。JR某社から「うちに興味ある人は集まれ！」と学生に声がかかり飲み会に参加した数日後、I先生から「中西君、JR某社のNさんから『来てほしい』という話があったけど、君はJR東日本に入りたいと言っていたから断っておいたよ！」と言われました。その一言で私はJRの仕事に向いている、JRから必要とされていると感じ、JR「東日本」へ入社して頑張ろう！という気持ちになったことをよく覚えています（笑）。

(次頁に続く)





当社では高校卒業して入社後、1年近く研修センターで研修を行っています。皆で一緒に過ごし、仲間意識が強くなることにもつながっています。若手社員には「君たちは私の宝物」「君たちがいないと会社の成長はない」「君たちには定年まで働いてほしい。なぜならユニオン建設を皆で一緒に良い会社にしていきたいから」と話しています。転職が当たり前の時代になっても会社は社員とともに成長していくことに変わりはありません。その意味で長く勤務することを期待していると繰り返し話しています。「時代遅れ」で「バカ」な社長だなあ、と思われることは百も承知です（笑）。

今後も会社の成長のためにも人財の確保に努め社員が成長することに力を入れていきたいと思います。

VOICE

BEV(電気自動車)のすすめ

J R 東日本コンサルタンツ(株) 佐々木 優美

1. はじめに

2022年春、我が家は初のマイカーとしてBEV（電気自動車）を購入しました。BEVの普及率を見てもまだまだ少数派かと思うので、この場をお借りしてBEVについてご紹介したいと思います。走行性やUI等は好みがあると思いますので、今回は車両購入や運用上の費用面に限った話とさせていただきます。

2. BEVのコストについて

① 車両購入費用

BEV購入には国や自治体が補助金を出しており、仮に東京都在住であれば、国から最大85万円、東京都から最大45万円の130万円を受け取ることができます。車両を4年間所有する条件付きですが、インシャルコストを抑えることができます。

② 維持費：税金

自動車税はグリーン化特例により新車登録年度の翌年度分は概ね75%減税となり、6,500円、2年目以降は25,000円を納めることになります。東京都では令和7年度までに初回新規登録したBEVを対象に新規登録時と翌年度から5年度分の自動車税種別割の課税が免除されるなど、税制の面で優遇されています。

③ 維持費：充電料金

充電料金はガソリン料金と異なり、使用する給電システムによって異なります。バッテリー容量が54kWh（航続距離約420km）の車を自宅で0%から100%まで充電する場合は約1,700円かかり、ハイブリッド車と比較しても割安かと思います。対して、SA等にある急速充電は最大充電時間の30分充電する場合約1,500円（航続距離約100km分）かかるので、ガソリン車よりも割高になります。このように充電に係る費用は充電環境に依存するため、充電設備がある一軒家にお住まいの方はコストを抑えることができますが、充電設備がないマンションにお住まいの方は比較的费用が高んでしまいます。

④ 維持費：保険料

保険料は「車の種類」と「被保険者」、「補償内容」によって決まりますが、BEVはガソリン車と比較して車の種類による保険料が比較的高くなる傾向があります。

⑤ その他：低公害・低燃費車に係る有料駐車場料金割引措置

東京都及び東京都監理団体は、より低公害な自動車利用への転換促進の一環として、低公害車を対象に、有料駐車場料金割引措置を平成13年4月1日から実施しています。都立公園の駐車場も対象となっており、頻繁に子供と公園に行く我が家はとても助かっています。

3. おわりに

現在BEVの大手メーカーテスラでは、新車購入で充電料金が5年間無料という破格のキャンペーンを実施しています。乗り換えのタイミングが合う方は是非一度試乗してみたいはいかがでしょうか。

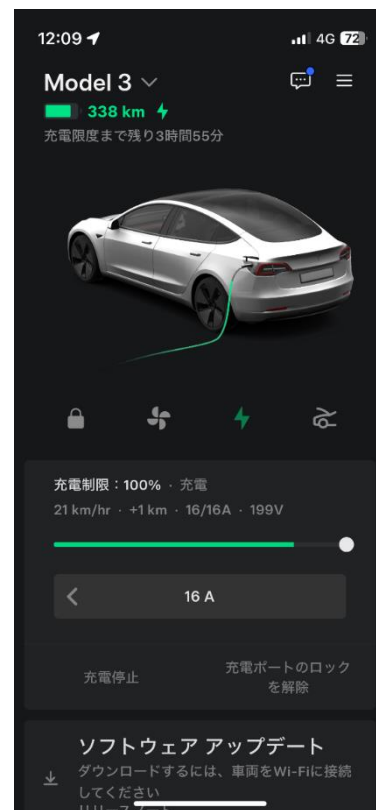


図 車両のアプリ画面
(充電が確認できます)



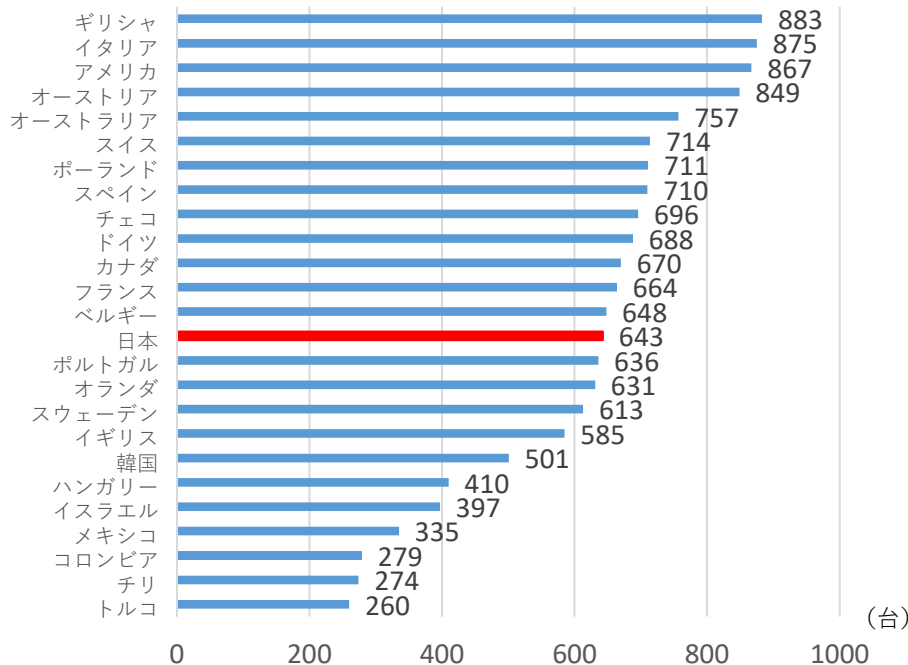
今月の国際比較データ



●自動車保有台数の国際比較

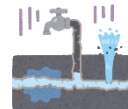
昨年末にホンダと日産が経営統合に向けた本格的な協議に入るという衝撃的な発表がありました（その後、統合協議が白紙の方向になっています）。この統合により世界第3位のグループが誕生することになるはずでしたが、自動車の話題と言うことで、今月は自動車保有台数の国際比較を紹介します。急速なモータリゼーションが進んだのは昭和のできごとのように思われますが、平成に入ってから令和初期にあたる1990年から2020年の間の30年間に、日本国内を走る自動車の数は約3000万台から約6000万台へと倍増しています。世界的には、クルマ社会が極端に進んだ北米やヨーロッパの一部の国を除くと、日本は先進国の一般的な水準にあります。

人口1000人当たりの自動車保有台数（乗用車やトラックなどの合計）



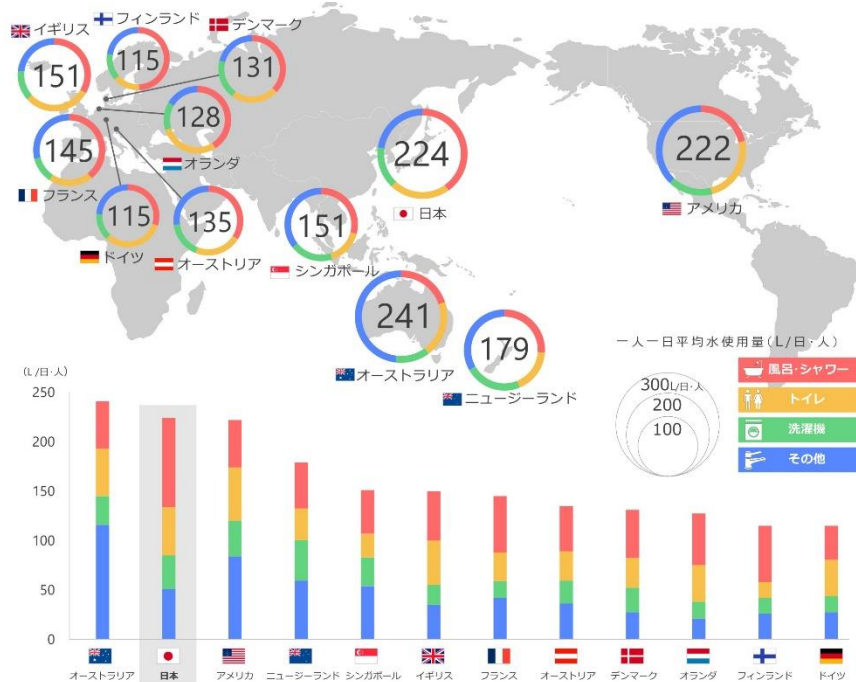
（出所）United Nations-Population Division（2022）他

●生活用水使用量の国際比較



こちら最近話題となっている下水管腐食に伴う道路陥没事故。埼玉県八潮市の交差点で道路が陥没した事故を受け、国土交通省は自治体に義務付ける下水管の定期点検の対象を拡大する方針です。現在は腐食しやすい構造の管路について5年に1回以上の定期点検を求めています。利用人口が多く破損時に影響が大きい都市部の主要管路も対象に追加することを検討しています。下水管は生活用水の使用に不可欠なものです。生活用水の使用量は世界的にはどうなっているのでしょうか。今月は生活用水使用量の国際比較についても紹介します。日本は英語圏の国並みに使用量が多い状況になっています。逆に環境への意識が高い北欧やドイツなどは使用量が少ない状況です。このことから下水管は生活に非常に密着していることがわかります。

世界の生活用水使用量マップ



（出所）水道技術研究センター（2017）「水道の国際比較に関する研究」



PF 書店



本の題名をクイックすると、出版社の書籍紹介HPにリンクします！



私のインフラ巡礼

① 歴史学はこう考える (松沢 裕作著 ちくま新書)

『歴史学はこう考える』。歴史家がどのように歴史と対峙しているのかがよくわかる一冊。歴史研究者はどのように問いを立てて、多くの史料から何を読み取り、何をどのように疑って、如何に結論を導き出していくのであろうか。そして、何故出された結論が妥当だと言えるのであろうか。研究者が「手の内をさらす」ことで、社会からの信頼を得ているという。史料の読み方は研究者によって異なるが、解釈は一定の幅に拘束される。その幅を我々が共有することで、歴史に対する理解や認識が深まっていくのではないだろうか。

② 2028年街から書店が消える日 (小島 俊一 著 プレジデント社)

衝撃的なタイトルである『2028年街から書店が消える日』。2028年とは今からたったの3年後ではないか。この本では出版業界に就職希望の若者とこの業界に詳しい叔父との対話方式のパートと識者へのインタビューパートに分けて、本を取り巻く業界構造の問題について丁寧に触れていく。書店の経営を維持していくためにさまざまな業界構造の変革により、出版社と取次、書店の関係を解き明かしながら話が展開される。書店に行って本を眺めるだけでも知的好奇心が発動しワクワクする。そんな感覚は常に大事にしたい。

③ 銀座でいちばん小さな書店 (森岡 督行 著 小学館文庫)

図書館の新着コーナーでパラパラめくっていたら、「山形」という文字が飛び込んできたことで読むことにした『銀座でいちばん小さな書店』。著者は自分と同じ年に生まれた寒河江の出身と親近感がさらに湧いた。1冊の本しか販売しない書店という、ネットで買えるこのご時世とは逆行するコンセプト。その一冊としてどんな本を選ぶのか、採算的に大丈夫なのか興味深い。書店があるのは山形のアンテナショップのある銀座一丁目というのも偶然か。最後には銀座の名建築を紹介しており、そんな銀座をぶらぶら歩いてみたい。

「横浜港新港埠頭・岸壁群」 (横浜市中区)



新年号恒例の同じ干支のインフラ巡礼。新年号は休刊となってしまったため、今号で改めて紹介させていただきます。2回前(120年前)の乙巳(きのとみ)に造成された「横浜港新港埠頭・岸壁群」を紹介します。横浜港新港埠頭は、1905年に完成した日本で初めての埠頭方式岸壁であり、陸上施設(荷役施設、倉庫、鉄道、道路、税関)を整備した日本で初めての近代港湾埠頭です。新港埠頭は1923年9月1日の関東大震災により岸壁・物揚場および護岸のほとんどが海側に倒壊し、陸上部の上屋・道路・鉄道の大部分が甚大な被害、岸壁上の荷役機械が海没する被害に遭いました。新港埠頭は日本の外国貿易を扱う港として早期復旧が計画され、岸壁・護岸は1925年3月に復旧しました。現在はハンマーヘッドなどの商業施設でも賑わっています。

(JR東日本 岩井 有人)

編集後記

ドナルド・トランプ氏がアメリカ大統領に再び就任したことは、全世界で大きな注目を集めています。就任直後から矢継ぎ早に発表された「アメリカ・ファースト」の新政策は、国内外での分断、孤立、対立をより一層深刻なものにしています。不安定性が増し、明確な答えが見えないこの世情において、私たちはどう行動すべきでしょうか。

(H.T)

